

に出現。

9. Myctophidae ハダカイワシ科

(172回出現、762尾)

ハダカイワシ科で種まで同定できたのは11種で227尾である。

それらの種類別出現割合を表わしたのが図-8である。マガリハダ

カが最も多く出現し、全体の47%弱を占め、次いでブタハダカ、

ススキハダカの順で、それらの3

種で全体の80%

強を占めた。

1網当り出現個

体数は0-3が

最も多く10.7

尾、ついでA-3

が7.1尾である。

湾内はほとんど出現してい

ない。調査点別

出現割合は各調

査点別に出現優

占種が違っていた。

A-3、A

-5、O-1、

O-3、O-4

ではマガリハダカが優占種で、A-7ではブタハダカが優占種、O-2ではススキハダカが優占種である。

ではマガリハダカが優占種で、A-7ではブタハダカが優占種、O-2ではススキハダカが優占種である。

Hygophum reinhardti (LÜTKEN) ドングリハダカ (2回出現、2尾)

1973年1月にA-7で全長1.68mm1尾、5月にA-5で全長1.77mm1尾が出現した。

Benthoosema suborbitale (GILBERT) ソコハダカ (1回出現、2尾)

1974年1月にO-2で全長1.99、2.05mmの2尾が出現した。

Myctophom californiense (EIGEMANN et. EIGEMANN) ナガハダカ

(3回出現、6尾)

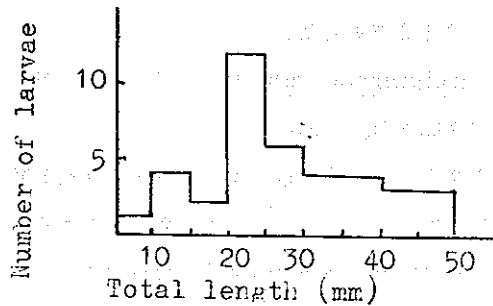


Figure-7 Total length composition of Trachinocephalus myops.

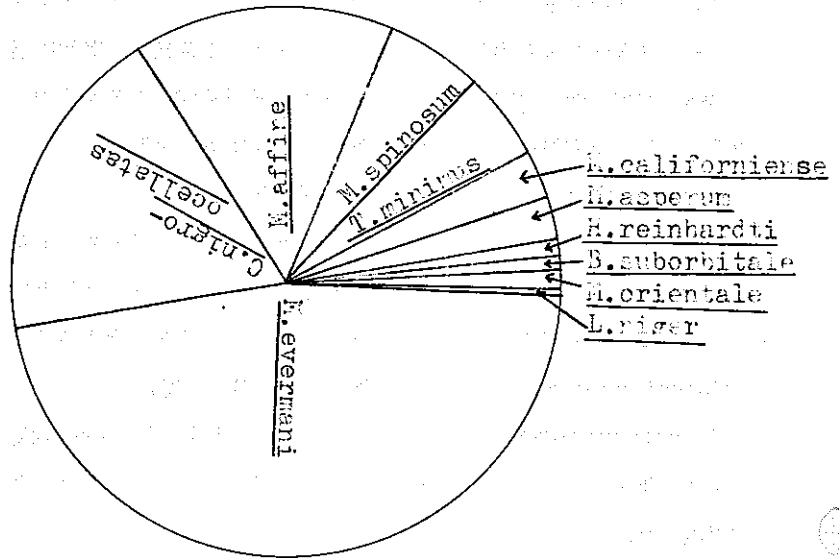


Figure - 8 The kind of myctophid juvenile constituents.

1972年8月にO-3  
で全長25.5、26.8mm2  
尾。1973年3月に全長  
範囲21.0-22.2mm3尾、  
5月に全長16.8mm1尾が  
出現した。

Myctophum evermani  
GILBERT マガリハダカ  
(21回出現、106尾)

四季を通して出現し、出  
現盛期は冬期から春期、す  
べての個体が夜間に出現し  
た。出現個体の全長組成を  
図-9に示した。出現個体  
の全長範囲は10.0-37.6  
mmでモードは24.1-28.0  
で、このモードは四季を通  
して各月毎の全長組成のモ  
ードと変わらない。

Myctophum affine

(LUTKEN) ススキハダカ (17回出現、35尾)

四季を通して出現した。出現個体の全長範囲は17.8-77.2mmで前種より大型の個体が出現した。出現個体の全長範囲を図-10に示した。モードは22.0-26.0mm。

Myctophum spinosum (STEINDACHNER) イバラハダカ (10回出現、13尾)

四季を通して出現し、出現個体の全長範囲は19.5-50.9mm、平均30.5mm。

Myctophum asperum RICHARDSON アラハダカ (4回出現、6尾)

1973年3月にA-3で全長17.8mm1尾。1974年5月に同じくA-3で全長19.2、  
26.4mm2尾。O-3で全長20.9、21.0mm2尾。1975年3月にO-1で全長35.5mm  
1尾が出現した。いずれも春期に出現した。

Myctophum orientale (GILBERT) ウズハダカ (2回出現、2尾)

1973年3月に全長6.5mm1尾が丸特ネットにより出現、1975年3月にO-2で全長  
36.4mm1尾が稚魚ネットにより出現した。

Centrobranchus nigro-ocellatus (GUNTHER) ブタハダカ

(23回出現、42尾)

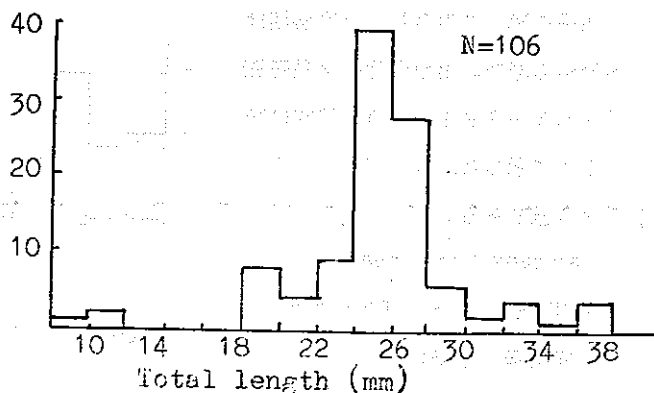


Figure - 9 Total length composition of Myctophum evermani

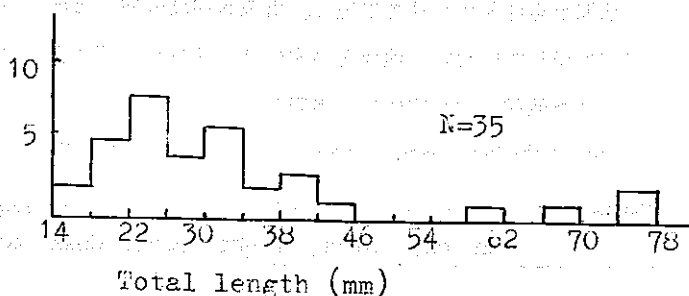


Figure - 10 Total length composition of Myctophum affine